

(令和3年4月試験研究業務月報)

試験研究課題：万願寺トウガラシ収穫ロボットの開発

研 究

万願寺トウガラシの収穫機械化を目指した栽培様式の検討

万願寺トウガラシの栽培では、収穫や出荷に必要な作業時間が長く、全体の6割を占めています。また、盛夏期のハウス内は40℃以上の高温になるため、収穫作業の労働強度が極めて高いことなどが、生産面積の拡大を妨げる要因の1つになっています。

そこで、当センターでは収穫作業を自動で行うロボットの開発を進めており、機械が果実を見つけやすく、収穫しやすい栽培様式の検討を行っています。

今回、4月上旬に万願寺トウガラシの定植を行い、ハウスでの栽培を開始しました。収穫期の5月から11月にかけて果実の着果状況調査を行い、果実の視認性に優れ、収益性の高い仕立て、剪定方法を明らかにしていきます。



万願寺トウガラシの苗をビニルハウス内に定植